



放課後児童クラブ支援員

ささき ゆい
佐々木 由衣さん



放課後児童クラブは、小学校の授業が終わった後、こどもが安心して過ごせる「放課後の居場所」です。支援員など大人がいる環境で、友達と一緒に遊んだり、宿題をしったりできます。

広田町の佐々木由衣さん(40)は、市内9カ所にある放課後児童クラブのひとつである、やどかり学童クラブ(高田町)の支援員です。大震災の前年からこのクラブでこどもたちを見守ってきた佐々木さんに仕事への想いをうかがいました。

この仕事に就いたのは、こどもと繋がれる仕事に憧れていたからです。だからとても楽しいです。震災後は親を亡くしたこどももいたので、なんとかサポートしていきたいと必死でした。

ある男の子に「お父さん、お迎えに来たよ」と話したら、「お母さん死んじやったから当たり前じゃない」と言われて…。何気なく使っている言葉がこどもにどう受け取られるのか、伝える側としては言葉の一つ一つを考えていかなくてはいけないと思いました。今でもお父さん、お母さんという言葉でこどもの心を辛くすることのないよう心掛けています。

このクラブでは、震災後からベーゴマをやっているんです。支援員もできるよう練習しました。紐巻きが結構難しいので途中でやめる子もいますが、どんどん強くなる子もいて、上手な子が下の子に教えるようになってつなげています。暗い場所で回すと火花が散るのでそこまで行きたいとがんばる子もいますよ。

今年新任で入った支援員は、かつて放課後児童クラブに所属していた子なんです。クラブで接

しているときはこどもたちにうまく対応できている実感がないのですが、このような形で帰ってきてくれたり、卒業生の保護者から元気であると聞くと、「こどもたちと関わられてよかった」と感じます。

議会へのひとこと

放課後児童クラブは日曜日と祝日にお休みさせていただいておりますが、その日に仕事をしている保護者もいます。なので、こどもを預ける場所が増えてほしいですし、こどもと一緒にに行ける場所があるといいかなと思います。雨の日でも小学校低学年が思いっきり体を動かせる空間があるといいですね。



あとがき



今年の夏は、全国的に危険な猛暑が続いていますが、近年は市内でも重度の熱中症による救急搬送が増加傾向にあるそうです。

そこで、対策につながる本市の取り組みを紹介します。まずは、冷房の効いた休憩場所として市内5施設が「涼み処」として利用できます。

また、本年度からリフォームに伴うエアコン設置にも市の補助がスタート。ほかには、気になる電気代の節約に太陽光発電システムの設置費用補助などもあります。さらに、太陽光発電の初期投資ゼロでスタートできるPPAモデルの推進に向けて市は検討中です。

市制度を活用して残暑を乗り切りましょう。(伊勢純)

議会だより編集小委員会

委員長	福田 利喜
副委員長	大和田 加代子
委員	佐々木 良麻
同	菅野 秀一郎
同	伊勢 純
同	佐々木 一義